

5-①. 学年別に見る生徒の本校の教育活動の感じ方の特徴

学年	今年度	前年度
中一	例年に比べて、自らの行動に責任を持ち、自立ある行動ができる生徒の割合が高い。よって、自主的学習や行事への満足度も高い学年である。例年の事ではあるが、進路指導に関しては評価が不十分である。	
中二	昨年度に続き、今年度も図書館には読みたい本が十分備わっているという項目で不十分であると感じている生徒が多い。授業参加や宿題に関しても例年より意識の高さが現れ、それが結果として進路についても高い関心を示している学年である。	図書室には読みたい本が十分に備わっていると思っている生徒は約7割で、家庭学習を十分していると思っている生徒は約3分の2だが、ほとんどの生徒が学校をきれいに保とうという意欲と本校の国際教育は充実していると思っている。
中三	この学年の特徴として、宿題が学力向上につながっていないと考える生徒が多い。これは、中学2年の時から変わらない。逆に、服装、頭髪指導や心の問題に関するケアについてはほとんどの生徒から良い評価を得ている。図書館の本の充実の項目も昨年同様に低い。	図書室には読みたい本が十分に備わっていると感じている生徒と本校の宿題は学力向上に役立っていると思っている生徒は半分強であるが、ほとんどの生徒が本校の先生方は熱心に指導していると思っており、約9割近くの生徒が病気やけがに対しての対応が迅速だと思っている。
高一	この学年は、進路指導は十分にやってもらえているが、自分自信進路実現に向けて動きだしていないと感じている生徒が多い。その原因が家庭学習など学習面での自分自身の甘さ反省した結果と予想される。お祈り、聖歌の項目では例年より高い数値である。	部活動が活発に行われていると思ひ、家庭学習を十分していると思う生徒は約6割であるが、ほとんどの生徒が、本校の学習環境・教育設備等は十分に整っていると思ひ、図書室の設備や環境は適切だと思っている。
高二	他学年と比較し、満足度が低い項目がいくつかある。特に、学校行事やホームルーム活動の評価が低い。学校環境の保全に関しては、学校を綺麗に保つ意識が感じられ、学校に対する期待の大きさ、何かしら貢献したい意識も感じる。	お祈りや聖歌の意義を正しく理解し、自ら進んで実行している生徒と部活動が活発に行われていると思っている生徒は約半数だが、ほとんどの生徒が本校の進学実績は十分であると思ひ、本校の先生方は熱心に指導していると思っている。
高三	多くの項目で例年より高い評価を得ているが、進路指導の項目では、不安を抱えている生徒が例年より多いのが特徴である。受験まっただ中で不安になる時期でもあると思うが、十分なケアが必要である。	家庭学習を十分していると思ひ、学校行事の内容は充実していると思ひ、生徒は半数前後だが、すべての生徒が学校をきれいに保とうという意欲があり、ほとんどの生徒が礼儀を守り、きちんと挨拶していると思ひ、

5-②. 学年別に見る保護者の本校教育活動の感じ方の特徴

学年	今年度	前年度
中一の保護者	お子さんの学校生活や教員の指導に関しては、多くの方に満足いただけているが、学習面、特に宿題の意図や子供達の取り組みに関して、また進路指導に関しては、昨年度より評価が低く、不十分だと感じている。生活指導や環境整備の面、生徒、担任、保護者の連携では良い評価を得ている。	
中二の保護者	国際交流に関しては、多くの方が充実していると感じており、生徒、保護者、教員間の連携に関しても概ね良好である。学習面に関して、もっと教員と連携をはかって学力向上につなげたいという考えもあり、進路指導にも高い関心を持っている保護者が多い。	お子さんは、進路実現に向かって努力をしていると思いき、部活動が活発に行われていると思っている保護者は約3分の2であるが、すべての保護者が本校の教員は熱心に指導していると思いき、病気やけがに対して対応は迅速だと思っている。
中三の保護者	宿題と学力向上に関して多くの方にご理解いただけてはいるものの、お子さんの取り組みに不満を抱える保護者が多くいる。また、学校行事、ホームルーム活動に関する評価が低く、もっと生徒、保護者、教員の連携を密にしてほしいと感じている保護者も多い。	お子さんは、進路実現に向かって努力をしていると思っている保護者は約半数で、本校の宿題は学力向上に役立っていると思っている保護者は約6割であるが、すべての保護者が本校は安全で清潔な学習環境であると思いき、ほとんどの保護者が本校の教員は熱心に指導していると思っている。
高一の保護者	ホームルーム活動や生徒会活動、また相談できる環境の項目が他学年に比べて低く、15%程度の保護者が子供が充実して学校生活を送っていないと感じている事と相関関係があると予想される。お子さんが中学3年の時より、進路実現に向けて頑張っていると感じている保護者が増えた。	部活動が活発に行われていると思っている保護者とお子さんが進路実現に向かって努力をしていると思っている保護者は約3分の2であるが、ほとんどの保護者が本校は安全で清潔な学習環境であると思いき、生徒の状況について学校(学年・担任)と保護者との連携は緊密であると思っている。
高二の保護者	生徒が不安、不満を感じる項目は保護者の満足度も低く、進路指導に関しては、生徒の評価以上に保護者の満足度は低い。学校生活の充実、生徒、保護者、教員間の連携、相談の項目でも昨年度より下がっている。保護者活動では、一定の高い評価を得ている。	お子さんは、家庭学習を十分していると思いき、部活動が活発に行われていると思っている保護者は約3分の2であるが、全ての保護者が本校の学習環境・教育設備等は十分整っていると思いき、安全で清潔な学習環境であると思っている。
高三の保護者	国際教育、学校生活への満足度、情操教育の項目では例年より高い評価を得ている。ただ、進学指導に関して十分だと感じていない保護者全体の15%弱を占めている。生徒、保護者、教員の連携、相談の項目では、昨年度より評価が下がった。	お子さんは、家庭学習を十分していると思っている保護者は約半数で、お子さんが進路実現に向かって努力をしていると思っている保護者は約4分の3だが、全ての保護者が本校の教員は熱心に指導していると思いき、本校は安全で清潔な学習環境であると思っている。